

調査結果概要

令和6年度(2024年度)健康教育実態調査

回答数 ※分校・校舎制・定時制・通信制も1校として回答	小学校 (義務教育学校前期)	中学校 (義務教育学校後期)	特別支援学校	高等学校 (全日制)	高等学校 (定時・通信制)
	327	158	21	52	9
	学校給食実施校	学校給食実施校	学校給食実施校	学校給食実施校	学校給食実施校
	327	157	20	0	8

※学校給食実施校は、完全給食の他、補食給食(パン、牛乳)実施校を含みます。

調査対象期間 令和6年度(2024年度)4月1日から3月31日 ※実施については予定を含む

1 保健管理について

(1) 健康観察 ※イは学校給食実施校のみ回答

ア 朝の健康観察を学級担任等、教職員が関わって実施し、結果を関係者で共有している割合

イ 給食前に給食当番(教職員を含む)の健康観察を実施している割合

	小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
ア	99.1%	99.4%	100.0%	88.5%	44.4%
イ	100.0%	98.7%	100.0%		75.0%

(2) 運動器検診

ア 学校医が受診を勧めた者の人数

イ アの結果、専門医等で受診し、学業に支障がある疾病・異常が認められた者の人数

ウ イにおける主な項目別人数(複数回答)

	小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
ア	1060人	554人	9人	160人	2人
イ	71人	34人	0人	0人	0人
ウ	○側弯(そくわん)	61人	28人	0人	0人
	○腰に関する項目	2人	1人	0人	0人
	○上肢に関する項目	2人	0人	0人	0人
	○下肢に関する項目	2人	4人	0人	0人
	○片脚立ち	1人	0人	0人	0人
	○しゃがみ込み	2人	0人	0人	0人
	○その他	2人	1人	0人	0人

(3) アレルギー疾患 ※オ・カは学校給食実施校のみ回答

ア 保護者が学校での管理を求める児童生徒の人数

イ アのうち、原因物質が食物(食物依存性運動誘発アナフィラキシーを含む)の人数

ウ アのうち、エピペン(アドレナリン自己注射薬)が処方されている人数

エ アレルギー対応に関する校内研修を行っていない学校の割合

オ 学校給食における食物アレルギー対応が必要な人数

カ 学校給食における食物アレルギー対応について具体的方針がない学校の割合

	小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
ア	2168人	1108人	86人	341人	25人
イ	2108人	984人	82人	288人	24人
ウ	349人	110人	9人	77人	1人
エ	0.6%	1.2%	4.7%	7.7%	11.1%
オ	1097人	839人	72人		12人
カ	0.0%	0.0%	0.0%		0.0%

2 保健教育について

(1) 薬物乱用防止教室を行った学校の割合

小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
99.0%	100.0%	57.0%	100.0%	89.0%

(2) 性に関する指導

ア 年間指導計画がない学校の割合

イ 「性に関する指導(教育)リーフレット」(R2年3月県教委発行)を活用した学校の割合

ウ 性教育講演会を行った学校の割合

	小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
ア	0.0%	0.0%	9.5%	11.5%	0.0%
イ	58.7%	53.2%	28.6%	17.3%	11.1%
ウ	30.6%	83.5%	57.1%	96.2%	88.9%

(3) がん教育を行った学校の割合

※必修である保健体育の授業(生活習慣病のがん)等で扱った場合も「行った」とこととする

小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
93.3%	99.4%	76.2%	100.0%	88.9%

3 健康教育の組織活動・養護教諭の業務等について

(1) 主な健康課題(各校2つまで選択可)

1 感染症(新型コロナウイルス感染症を含む)

2 メディア・SNS(視力・睡眠時間等への影響を含む)

3 心の健康

4 歯と口の健康

5 栄養状態・食に関すること(食アレルギーを含む)

6 命・性に関すること(がん・エイズを含む)

7 飲酒・喫煙・薬物乱用防止

8 上記以外の生活習慣に関すること(運動習慣等)

	小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
1	2.4%	3.4%	31.3%	8.7%	0.0%
2	89.0%	97.3%	43.8%	76.1%	50.0%
3	45.3%	70.1%	43.8%	80.4%	75.0%
4	35.8%	21.8%	18.8%	23.9%	25.0%
5	6.1%	5.4%	37.5%	2.2%	25.0%
6	2.4%	3.4%	37.5%	13.0%	12.5%
7	0.0%	0.7%	0.0%	8.7%	12.5%
8	13.8%	6.1%	31.3%	10.9%	12.5%

(2) 学校保健委員会を開催した学校の割合

小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
100.0%	99.4%	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 養護教諭・養護助教諭が保健教育に参画していない学校の割合

小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
0.6%	1.9%	0.0%	5.8%	11.1%

4 食育について

(1) 食に関する指導の全体計画①②(全体計画・年間指導計画)の見直しを行った(予定)割合

(2) すべて及び一部の学級において教科等の授業で食に関する指導と結びつけた学習を行った割合

(3) すべて及び一部の学級において給食の時間における食に関する指導を行った割合

(4) 食育について保護者への啓発を行った割合

	小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
(1)	99.7%	98.7%	76.2%	40.4%	44.4%
(2)	99.7%	99.4%	95.2%	96.2%	100.0%
(3)	99.7%	97.5%	100.0%		50.0%
(4)	95.1%	89.9%	85.7%	48.1%	66.7%

(5) 児童生徒の実態

質問項目	ア 食べ物の産地や料理の歴史・郷土料理等(ふるさとくまさんデー・ひごまるデー)に関心がある(食文化)
	イ 食べ物や作った人に感謝して食べる(感謝の心)
	ウ はしの使い方や話題など、食事のマナーに気をつけて食べる(食事のマナー)
	エ 栄養のバランスに気をつけて食べる(心身の健康)

○小学校・中学校・義務教育学校・高等学校

対 象	質問概要	はい	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうではない	いいえ
小学校 5年生	ア 食文化	23.5%	42.5%	24.2%	9.7%
	イ 感謝の心	77.0%	20.3%	2.2%	0.6%
	ウ 食事のマナー	55.2%	35.9%	7.2%	1.7%
	エ 心身の健康	39.6%	40.9%	15.1%	4.4%
中学校 2年生	ア 食文化	16.6%	39.0%	30.2%	14.2%
	イ 感謝の心	77.0%	20.9%	1.6%	0.6%
	ウ 食事のマナー	67.8%	27.2%	3.9%	1.1%
	エ 心身の健康	35.1%	42.8%	17.0%	5.0%
高等学校 2年生	ア 食文化	17.1%	37.9%	29.4%	15.6%
	イ 感謝の心	80.0%	18.4%	1.2%	0.5%
	ウ 食事のマナー	70.0%	25.7%	3.6%	0.7%
	エ 心身の健康	36.1%	43.1%	16.7%	4.1%

○特別支援学校

対 象	質問概要	はい	どちらかといえば そうである	どちらかといえば そうではない	いいえ
小学部 5年生	ア 食文化	27.3%	12.1%	28.8%	31.8%
	イ 感謝の心	53.0%	42.4%	3.0%	1.5%
	ウ 食事のマナー	37.9%	43.9%	13.6%	4.5%
	エ 心身の健康	39.4%	31.8%	18.2%	10.6%
中学部 2年生	ア 食文化	40.9%	18.2%	19.1%	21.8%
	イ 感謝の心	72.3%	20.5%	2.7%	4.5%
	ウ 食事のマナー	51.4%	31.8%	10.3%	6.5%
	エ 心身の健康	47.3%	33.6%	15.5%	3.6%
高等部 2年生	ア 食文化	28.9%	31.6%	24.3%	15.3%
	イ 感謝の心	67.4%	25.9%	3.7%	3.0%
	ウ 食事のマナー	55.8%	29.6%	10.3%	4.3%
	エ 心身の健康	41.5%	31.2%	19.9%	7.3%

5 化学物質過敏症(香害)について

(1) 化学物質過敏症(香害)についての対応を行った学校。

小学校	中学校	特支	高校(全)	高校(定)
30.0%	25.3%	4.8%	28.8%	0.0%

【具体的な対応】 ・校内にポスターを掲示し、周知した。 ・各種便りで周知した。 ・懇談会等で周知した。 ・給食エプロンを個人持ちにした。 等
